

日本フランス語フランス文学会 2006年度春季大会

5月20日(土) ワークショップ
15:30~17:30
(詳細は別紙レジュメをご覧ください)

5月21日(日) 研究発表会
第1部 9:45~11:15

「港区小中高生フランス文学読書感想コンクール」の表彰式と受賞者による自作の朗読はワークショップ(2)「箱庭の中のフランス文学」で行われます。

(1) Le FLE au Japon : un regard croisé franco-japonais
513教室

Vincent Brancourt (coordinateur, Université Keio)
Hervé Couchot (Université de Tokyo)
Utako Kikuchi (Université Kansai)
Akira Mizubayashi (Université Sophia)
Adriana Rico-Yokoyama (Université d'Osaka)
François Roussel (Université des Langues Etrangères de Tokyo)
Keiji Suzuki (Université de Tokyo)

(2) 箱庭の中のフランス文学
東館4階セミナー室
鷺見洋一(コーディネーター, 慶應義塾大学)

(3) 「どっきり」のフランス語 オノマトペ, 間投詞, 感嘆文
512教室

泉 邦寿(コーディネーター, 上智大学)
青木三郎(筑波大学)
フランス・ドルヌ(青山学院大学)
川口順二(慶應義塾大学)

(4) 人類学的思考とモダニティ
515教室

千葉文夫(コーディネーター, 早稲田大学)
竹内信夫(東京大学)
鈴木雅雄(早稲田大学)
真島一郎(東京外国語大学)

(5) ケベックの文学状況
522教室

小畑精和(コーディネーター, 明治大学)
藤井慎太郎(早稲田大学)
寺家村博(拓殖大学)
天野信巳(ケベック州政府在日事務所)

(6) 旅とエクリチュール
516教室

水野尚(コーディネーター, 神戸海星女子学院大学)
増田真(京都大学)
和田章男(大阪大学)

(7) 詩と映像と音楽の融合 Fusion de poème, d'image et de musique

東館6・7F G-SEC Lab
小瀧昭夫(プレゼンター, 慶應義塾大学)

第1分科会 フランス語学・語学教育(1) 512教室

司会 大阪大学 三藤博

1. 日本語母語話者のフランス語鼻母音 - 調音的・音響的特徴からの考察

名古屋外国語大学(博士前期課程) 安藤博文

2. *Réciproquement vs Mutuellement* - 現代フランス語の2種類の相互性をめぐって

慶應義塾大学(博士課程) 芦野文武

3. スペース間コピュラ文としてのトートロジー

日本学術振興会特別研究員 酒井智宏

第2分科会 中世・17世紀 515教室

司会1 龍谷大学 嶋崎陽一

1. トマ『トリスタン物語』v.1454及びv.1462をめぐり解釈の試み - *vostre amour* という表現を中心に

東京大学(博士課程) 上杉恭子

2. 『散文トリスタン物語』内の記述と発話行為の問題 - *Ecrits et voix narratives dans le Roman de Tristan en prose* (tome IX, §1-§45)

明星大学 佐佐木茂美

司会2 早稲田大学 支倉崇晴

3. テクストの記述と歴史形成——リアンクール『覚書』にみるジャンセニスムの攻撃性

武蔵大学(非常勤) 野呂康

第3分科会 18世紀(1) 514教室

司会 上智大学 水林章

1. 描写詩の発展と叙情詩の再生におけるルソーの影響 - ルーシェ『一年の月々』を中心に

同志社大学(非常勤) 井上櫻子

2. 植物学者としてのルソー - ルニョー『有用植物誌』への書込みを中心に

ヌーシャテル大学(博士課程) 小林拓也

第4分科会 19世紀(1) 513教室

司会 慶應義塾大学 宮林寛

1. 1870年代のステファヌ・マラルメにおける「内的な祝祭」 - 『最新流行』、『ヴァテック』序文をめぐって

東京大学(博士課程) 熊谷謙介

2. 音楽ではない - マラルメの絶対音楽受容を巡って

上智大学(非常勤) 黒木朋興

第5分科会 19世紀(2) 522教室

司会 京都市立芸術大学 柏木加代子

1. バルベール・ドールヴィイの『妻帯司祭』における宗教観
京都外国語大学(非常勤) 小溝佳代子

日本フランス語フランス文学会 2006年度春季大会

2. プールジェ『弟子』と世紀末イデオロギー小説

日本学術振興会特別研究員 田中琢三

3. 哲学の裁断 - 『ブヴァールとペキュシェ』のヘーゲルの挿話をめぐって

日本学術振興会特別研究員 山崎敦

第6分科会 20世紀(1) 524教室

司会 一橋大学 中野知律

1. 『失われた時を求めて』の中のゲルマント大公妃マリーとアルベルチーナにおける「月」と「水」 - 変身と再生

お茶の水女子大学(博士課程) 菊池博子

2. マルセル・ブルースト『失われた時を求めて』におけるアルコール

東京大学(博士課程) 福田桃子

第7分科会 20世紀(2) 516教室

司会 電気通信大学 兼子正勝

1. 主体の分裂と演劇化 - ジョルジュ・バタイユにおける自己喪失と書く行為

東京大学(博士課程単位取得退学) 神田浩一

2. 美術館としての芸術作品 - ブランシヨのマルロー論をめぐって

パリ第7大学(博士課程) 郷原佳以

第8分科会 20世紀(3) 532教室

司会 奈良女子大学 三野博司

1. マルグリットデュラス作品における忘我と時間

パリ第8大学(博士課程修了) 上田章子

2. マルグリット・デュラス『モデラート・カンタービレ』 - 問うこととしての物語

立教大学(非常勤) 関未玲

3. 演劇テキストについての一考察 - カミュにおけるト書

立教大学(非常勤) 島田薫

第2部 12:30~14:00

第9分科会 フランス語学・語学教育(2) 512教室

司会 西南学院大学 西村牧夫

1. 定冠詞句のいわゆる直示的用法について

関西大学(非常勤) 小田涼

2. 遠隔教育の可能性

日本私学教育研究所 山崎吉朗

第10分科会 18世紀(2) 514教室

司会 京都大学 増田真

1. 18世紀における崇高概念の世俗化 フランス語で書かれた修辞学書における記述を中心に

中部大学中部高等学術研究所研究員 玉田敦子

2. サドのリベルタン小説の生成過程の一側面 - リベルタン、プレサックの造型

徳島文理大学 林 學

第11分科会 19世紀(3) 515教室

司会 群馬県立女子大学 井村まなみ

1. ランボーにおける時間 - 断続と再生

東京大学(博士課程) 谷口円香

2. « mauvais sang » : Rimbaud à la recherche des temps perdus

パリ第4大学(博士課程) 深井陽介

第12分科会 19世紀(4) 513教室

司会 慶應義塾大学 田中淳一

1. L'œuvre de Pierre Loti : la mise en scène d'une vie

東邦大学 Peter James Turberfield

2. 世紀末のユダヤ系作家 - マルセル・シュウオ『少年十字軍』をめぐって

横浜市立大学(博士課程) 鈴木重周

第13分科会 20世紀(4) 522教室

司会 早稲田大学 塩塚秀一郎

1. レーモン・クノー『文体練習』における「語りの枠組み」について

京都大学(助手) 久保昭博

2. Exception, décalage, transgression - essai sur le "clinamen" dans les *Exercices de style*

リエージュ大学(博士課程) 後藤加奈子

3. レーモン・ルーセルと心霊主義

早稲田大学(非常勤) 新島進

第14分科会 20世紀(5) 524教室

司会 日本橋学館大学 原田操

1. ヘーゲルの余白に - シュルレアリスムと「弁証法」

北海道大学(博士課程) 齊藤哲也

2. 遅れた手紙 - ブルトンとバタイユ

東京大学(博士課程) 橋本悟

3. フーリエ主義者ブルトンとシュルレアリスト・フーリエ

一橋大学(博士課程修了) 福島知己

第15分科会 20世紀(6) 516教室

司会 東京外国語大学 西永良成

1. ミシェル・レリス「偽=ゲームの規則」の発見 - « Ici fruit à la tête se dit : là on s'enlise »

早稲田大学(博士課程) 谷口亜沙子

2. 声と記号 - ジュリアン・グラック『シルトの岸辺』における読むことのフィギュール

早稲田大学(博士課程) 三ッ堀浩一郎

第16分科会 20世紀(7) 532教室

司会 成城大学 末永朱胤

1. ソシユールのアナグラム - スタロパンスキーからフルールノワまで

明治学院大学(非常勤) 金澤忠信

2. ロラン・バルトにおける「官能性」 - テクストから恋愛主体へ

東京大学(博士課程) 滝沢明子